



文部科学省スーパー・グローバル大学創成支援事業

東京藝術大学・川本喜八郎生誕90年記念講演

川本喜八郎

その人と作品

2010年に他界した日本を代表する人形アニメーションの巨匠、川本喜八郎生誕90周年を記念して、フランスから日本映画・アニメーション研究家のセルジユ・エリック・セグラ氏をお招きし、海外からの視点で、川本喜八郎の人と作品を掘り下げる長時間の講演を行ないます。またカナダから川本と交流の深かつたコ・ホードマン監督をお招きし、お話を伺います。

2015年3月10日(火)

時間..午後4時～午後8時30分

会場..東京藝術大学 横浜校地
馬車道校舎

聴講..無料

主催..東京藝術大学大学院映像研究科
協力..有限会社川本プロダクション

講師..セルジュ・エリック・セグラ
特別ゲスト講師..コ・ホードマン



川本喜八郎 その人と作品

人形美術及びアニメーション映画に大きな軌跡を残した川本喜八郎(1925-2010)の作品も、作者自身の人生そのものも、常に国境を越えるものだった。本発表はその生涯を振り返り、川本作品の歴史上・表現上の位置付けを試みるものである。講演中、参考作品の抜粋上映を含む。

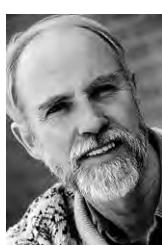


講師：
セルジュ=エリック・セグラ
Serge Eric SEGURA

映像研究家。1965年フランス生まれ。黎明期より現代までの、商業系・独立系を問わず日本の映画・アニメーション史について、個人的活動として長年の調査研究を続ける。川本監督との文通が2006年に始まり、2007年に初めて本人に会え、二回に亘る長いインタビューを実施・撮影。川本作品を扱う書籍の執筆中に、本人より多数の資料を教示・提供して頂いた結果、その準備段階に当たる年表式資料編を「川本喜八郎先生の人形をめぐって」(日本語、578ページ)という題でまとめ、その事実確認中の2010年8月に川本監督逝去。2009年にベルギーのアニメーション作家ラウル・セルヴェとともに川本作品を鑑賞し、書籍収録の予定でそれらの短編に関する取材を行った。2012年にパリのフォーラム・デ・ジマージュにて「川本喜八郎～写真で振り返るその人と作品～」と題した講演をイラン・ゲン氏と共に担当。

特別ゲスト講師:コ・ホードマン Co HOEDEMAN

アニメーション監督。1942年オランダ生まれ。カナダ在住。オランダで写真の勉強をした後、NFBに就職、1968年から現在まで47年間、立体アニメーションを中心に実験的なアニメーションや子ども向けの良質な作品を多数生み出し続けている。砂を使った立体アニメーション『砂の城』でNFB初のオスカーを受賞。積木のアニメーション『シュッシュッ』、切り紙を立てて置き換えるドローイングと立体アニメーションを組み合わせた『チャールズとフランソワ』、紙書きを習い、紙の質から自ら作った『悲しみの白クマ』など様々な技法と内容をもった作品を生み出している。正統派の人形アニメーション『ティビアのルドヴィック』シリーズが人気。



通訳：
イラン・グエン
Ilan NGUYEN

本学グローバルサポート
センター特任准教授。

企画・進行：山村浩二 Koji YAMAMURA

本学大学院映像研究科アニメーション専攻教授、アニメーション作家、絵本画家。1964年愛知県生まれ。『頭山』(2002)がアヌシー、ザグレブをはじめ世界の主要なアニメーション映画祭で6つのグランプリを受賞、第75回アカデミー賞にノミネート。『カ夫カ 田舎医者』(2007)が7つのグランプリを受賞。カナダ国立映画制作庁との共同制作『マイブリッジの糸』(2011)制作。第30回川喜多賞受賞。



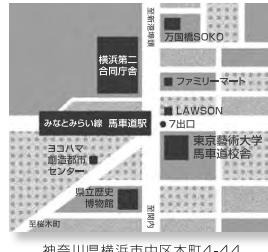
2015年3月10日(火)

受付：午後3時～

開演：第一部 午後4時～午後6時、
第二部 午後6時15分～午後8時30分(約4時間15分)

会場：東京藝術大学大学院映像研究科
馬車道校舎3階 大視聴覚室

聴講：無料



お問い合わせ：東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻
〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通4-23
万国橋会議センター3F
電話：045-227-6041(開催前)
電話：050-5525-2676(当日)
E-mail：contact@animation.geidai.ac.jp

主催：東京藝術大学大学院映像研究科

協力：有限会社 川本プロダクション